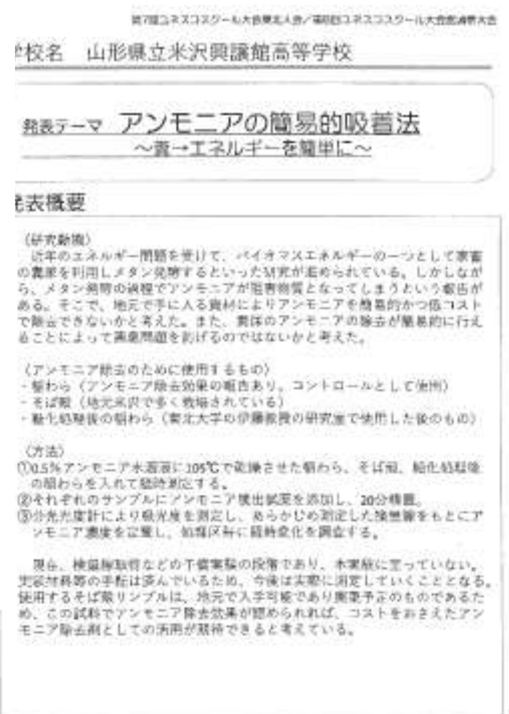
スーパーサイエンスハイスクール
米沢興譲館高校SSH通信

第７回ユネスコスクール大会東北大会

平成30年11月16日、国立大学法人宮城教育大学を会場に、平成30年度日本ユネスコパートナーシップ事業の一環として、第７回ユネスコスクール大会東北大会」が開催された。

本校からは、授業スーパーサイエンスリサーチ（SSR）より、「アンモニアの簡易的吸着法」を研究しているグループと、部活動コアスーパーサイエンスクラブ（CSS）から　天然酵母による「バイオエタノール生成の研究」のグループがポスターセッションで参加した。

今回は、研究概要などを画像にて紹介する。

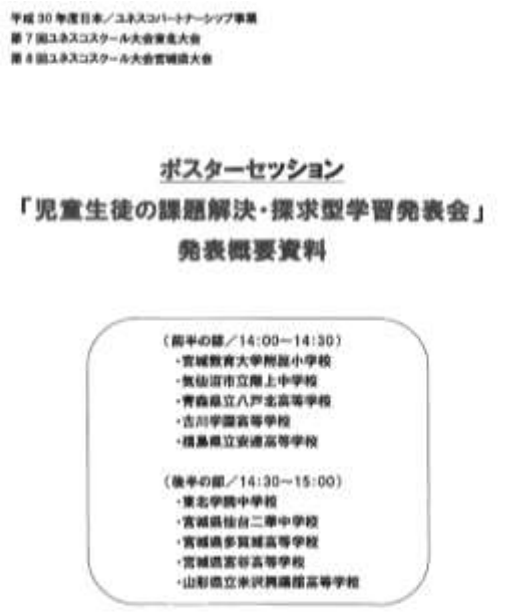


第7回ユネスコスクール大会東北大会／第8回ユネスコスクール大会宮城県大会

学校名　山形県立米沢興譲館高等学校

発表テーマ　アンモニアの簡易的吸着法
～畜→エネルギーを簡単に～

発表概要

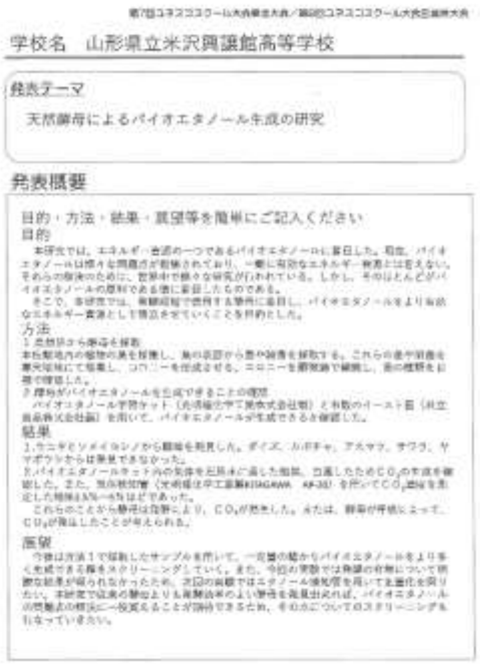


平成30年度日本／ユネスコパートナーシップ事業
第７回ユネスコスクール大会東北大会
第４回ユネスコスクール大会宮城県大会

ポスターセッション
「児童生徒の課題解決・探求型学習発表会」
発表概要資料

（前半の部／14:00～14:30）
・宮城教育大学附属小学校
・気仙沼市立階上中学校
・青森県立八戸北高等学校
・古川学園高等学校
・福島県立安達高等学校

（後半の部／14:30～15:00）
・東北学院中学校
・宮城県仙台二華中学校
・宮城県多賀城高等学校
・宮城県富谷高等学校
・山形県立米沢興譲館高等学校



第7回ユネスコスクール大会東北大会／第8回ユネスコスクール大会宮城県大会

学校名　山形県立米沢興譲館高等学校

発表テーマ
天然酵母によるバイオエタノール生成の研究

発表概要

目的・方法・結果・展望等を簡単にご記入ください

→発表者←

郷土Yamagata ふるさと探究コンテスト

小中高生による地域を素材とする学習及び体験活動の成果を募集し、優れた取り組みを表彰することで、自分の住む地域の自然や文化、歴史、偉人などのふるさとのよさを発見・再確認し、郷土に対する愛着や誇りを育む。また、これらの取り組みを広く発信することで、小中高生がお互いの地域のよさを知るとともに、保護者や地域住民にとっても、地域の魅力を再認識する機会とする。という目的・趣旨で、県教育委員会が主催し、平成30年11月17日に東根市さくらんぼタントクルセンターにて開催された。

山形県から全国へ！
最先端技術の発信　～筋
山形県立米沢興譲館高等学校

優秀賞
受賞！

郷土を科学の視点から

一年　女子

私は　郷土Ya magataふるさとコンテスト」に参加しました。「この大会は、小学生から高校生までを対象とし、地域を題材とした調査研究活動や体験活動を発表する大会です。

私自身は医学的なアプローチにより、山形県内の高齢化による諸問題を解決することを目指した内容を発表しました。具体的には筋肉の再生についての研究です。地域の問題を科学の視点から解決していこうとする興譲館高校の取り組みを多くの方々に理解してもらうきっかけになったと思い　ます。また、他校の発表を聞くことにより新たな課題と魅力を発見することができました。農業や地域の特産品、制度といった様々な観点から多角的に山形県について知ることができたと思います。今回の経験を糧に、山形県の様々な課題を科学によって解決できるように尽力したいと思います。

山形県立米沢興譲館高等学校ＳＳＨ事務局
URL:http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/htdocs　Email:yyonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒９９２－１４４３ 山形県米沢市大字笹野１１０１番地　℡０２３８－３８－４７４１（代表）